

# 漁川ダムの防災操作効果について

平成24年5月3日より降り始めた雨により、漁川の上流にある漁川ダムでは、**河川の水位を低減させる防災操作を実施しました。**

ダムに流れ込んでくる水を一部貯め込み、下流に放流する水を少なくすることで、漁川の日の出橋付近（日の出橋水位観測所）の水位を**概ね0.2m程度低減**させたと想定されます。

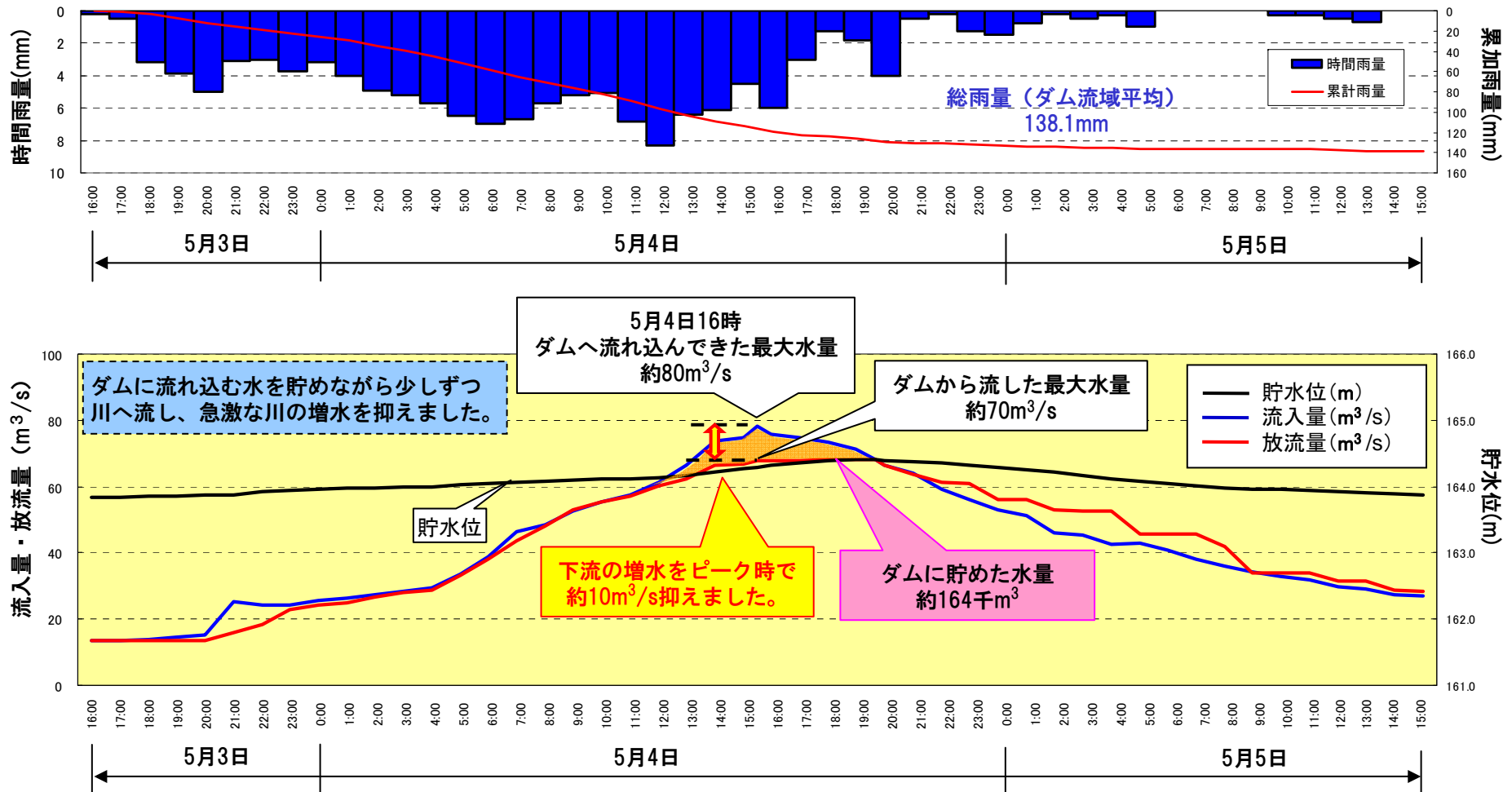


凡例  
● 水位観測所

※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

# 漁川ダムの防災操作状況

今回の出水において、漁川ダムでは、最大で毎秒約80m<sup>3</sup>の流入がありました。それに対し下流への放流を最大でも毎秒70m<sup>3</sup>程度に抑え**164千m<sup>3</sup>（札幌ドーム約0.1個分）**の洪水をダムに貯め、下流河川の水位低下を図ることが出来ました。



※当該資料は速報資料であり、今後精査により変更があり得ます。

